

フルアジナム粉剤 フロンサイド粉剤	取扱メーカー： 石原、日農*、ホクサン 原体メーカー： 石原産業
成分： フルアジナム……………0.50%	性状： 類白色粉末45 μ m 以下 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】……………

- 抗菌スペクトラムが広く、広範の病害に卓効を示す。
- 根こぶ病菌に対し、殺菌的に作用し、長期間被害を抑える。
- 土壤中で適度に分解するため後作物への影響がほとんどない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 薬剤は均一に散布し、土壌混和を丁寧に行う。
- 降雨直後などの過湿な土壌では、混和が不十分となるため使用はさける。
- 石灰などとの併用でより高い効果が得られる(根こぶ病)。
- キャベツの菌核病、苗立枯病(リゾクトニア菌)、はくさいの黄化病、ばれいしょのそうか病、粉状そうか病、ねぎの小菌核腐敗病、レタスのビッグベイン病に対しては、多発条件では十分な効果が得られないことがあるので注意する。

- みずかけなを使用する場合、水掛け開始は薬剤処理後2カ月以降を厳守する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 植穴処理では薬害が発生する場合があるので、使用しない。
- 根こぶ病に対して多量に処理した場合には、薬害が発生する場合があるので、基準薬量を厳守する。
- 適用作物(てんさい、レタス他)の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 共通注意事項8. 適用作物群に関する注意事項を参照。

【安全対策上の注意】……………

- 魚類に影響を及ぼすおそれがあるので注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



【適用と使用方法】

作物名	適用病害名	10 a 当り 使用量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	フルアジナムを含む 農業の総使用回数	
ばれいしょ	そうか病 粉状そうか病	30～40kg	植付前	1 回	全面土壌混和	6回以内 (種いも浸漬は1回 以内、植付前の土 壌混和及び植付時 の植溝散布は合計 1回以内、植付後 の散布は4回以内)	
キャベツ	根こぶ病	15～20kg 30～40kg	は種 又は定植前	2回以内 (苗床では 1回以内、 本圃では1 回以内)	作条土壌混和	3回以内 (苗床では1回以内、 本圃での土壌混和 は1回以内、土壌 散布は1回以内)	
	苗立枯病 (リゾクトニア菌) 菌核病	40kg			全面土壌混和		
カリフラワー ブロッコリー なばな	根こぶ病	15～20kg		1 回	作条土壌混和	1 回	
なばな類 (なばな、 みずかけ なを除く) メキャベツ かぶ		30～40kg					
こまつな	根こぶ病 立枯病 (リゾクトニア菌)	30kg	は種前				
みずな みぶな	根こぶ病	30～40kg	は種 又は定植前				
非結球あぶ らな科葉菜類 (但し、 ケール、 こまつな、 みずな、 みぶな、 のぎわなを 除く)							
のぎわな							
		20kg				作条土壌混和	2回以内 (土壌混和は1回 以内、土壌散布は 1回以内)
		15～20kg					
はくさい		30～40kg			全面土壌混和	全面土壌混和	
	黄化病						
レタス 非結球レタス	すそ枯病 ビッグベイン病	30kg				作条散布	1 回
みずかけな	根こぶ病	40kg					

作物名	適用病害名	10 a 当り 使用量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	フルアジナムを含む 農薬の総使用回数	
ね ぎ	白絹病 小菌核腐敗病	15kg	土寄せ時 但し 収穫 21 日 前まで	2回以内	株元散布	2回以内	
たまねぎ	黒腐菌核病	40kg	定植前	1 回	全面土壌混和	7回以内 (全面土壌混和は 1回以内, 苗根部 浸漬は1回以内, 散布は5回以内)	
に ら	白絹病	20kg	30 日前 まで		株元散布	1 回	
てん さい	叢根病	育苗培土 1kg 当り 5 ～10g	は種前		土壌混和	5回以内 (は種前の土壌混 和及び苗床灌注は 合計1回以内, 株 元散布は4回以内)	
らっかせい	白絹病	20kg	45 日前 まで		株元散布	1 回	
だい こん	亀裂褐変症 (リゾクトニア菌)	30～40kg	は種前		全面土壌混和		
チューリップ	葉腐病		植付前				
	条斑病 微斑モザイク病	40kg					定植前
ゆ り	茎腐症 (リゾープス菌による)						